

2023年2月27日

株式会社ジェーシービー
 株式会社みずほフィナンシャルグループ
 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
 株式会社りそなホールディングス
 損害保険ジャパン株式会社
 凸版印刷株式会社
 富士通株式会社
 TBT Lab 株式会社

～デジタルツイン社会を目指してメタバースの産業利用を開始～
 「ジャパン・メタバース経済圏」創出に向けた基本合意書の締結について
 ～ロールプレイングゲームの世界観を持つオープン・メタバース基盤を構築～

株式会社ジェーシービー、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、株式会社りそなホールディングス、損害保険ジャパン株式会社、凸版印刷株式会社、富士通株式会社、三菱商事株式会社、TBT Lab 株式会社（以下、TBT Lab）は、TBT Lab グループの JP GAMES 株式会社（以下、JP GAMES）が開発したメタバース構築フレームワーク「PEGASUS WORLD KIT」（以下、PWK）を用いた BtoB オープン・メタバース基盤「リュウグウコク（仮）」の構築および「ジャパン・メタバース経済圏」^{※1}の創出に向けて基本合意書（以下、本合意書）を締結しました^{※2}。

本合意は、ゲームクリエイターとしてグローバルに実績を持ち、JP GAMES のファウンダーでデジタル庁 Web3.0 アドバイザーを務める田畑 端氏の「ゲームの力で日本をアップデートする」というコンセプトに基づき、ゲーミングテクノロジーを活用した産業 DX^{※3}の取り組みに各社が賛同する形で成立しました。



※1 ジャパン・メタバース経済圏：オープン・メタバース基盤「リュウグウコク（仮）」を活用した、異なるメタバースサービス間およびメタバース・プラットフォーム間の相互運用によって形成されるエコシステムのこと
 ※2 契約締結日：2023年2月16日
 ※3 産業 DX：幅広い産業知見と DX 機能を活かし、産業・企業・コミュニティを繋ぎ、リアルとデジタルの融合による社会課題の解決を通じて、産業全体の発展を実現すること
 ※4 TBT Lab を除く各社は、株式会社を含む五十音順で記載しています

1. 本合意書締結の背景と目的

企業や行政機関において仮想領域を活用した DX 需要が急速に高まる中、本合意書を締結した各社は、ゲーミフィケーション、FinTech、ICT など各々のテクノロジーやサービスを統合して、企業向けオープン・メタバース基盤「リュウグウコク(仮)」を構築します。本基盤では、プラットフォーム内メタバース同士の連携、更には異なるメタバース・プラットフォーム同士の相互運用を可能にし、新しい社会インフラとして国内企業の情報発信、マーケティング、働き方改革等の企業 DX と消費者の EX(エクスペリエンス・トランスフォーメーション)を実現します。



2. 「リュウグウコク(仮)」は世界観を持つメタバース基盤

「リュウグウコク(仮)」は、それ自体が独自のファンタジーな世界観を持つ、ゆるやかなオンライン異世界ロールプレイングゲーム(以下、RPG)の要素を取り込んだメタバース基盤です。



「リュウグウコク(仮)」に提供される各メタバースサービスやコンテンツは、それぞれが移動する「街」や「城」や「乗り物」となって世界を彷徨います。ユーザーは異世界を旅する RPG の感覚で、様々なコンテンツやサービスとの出会いを楽しむことが可能になります。

また、「リュウグウコク(仮)」は、日本を代表する大手金融機関・大手企業と TBT Lab グループの協業により、本人認証、各種決済、データ基盤、保険などを安心・安全に利用できるオープン、かつセキュアなメタバース基盤を実現します。更に、本基盤を国外の企業や行政機関に提供していくことで、「ジャパン・メタバース経済圏」をグローバルにも広げていきます。

3. DX と EX を推進する 3 つのソリューション



(1) 「AUTO LEARNING AVATAR」(ALA)

「リュウグウコク(仮)」では、アバターを介したデジタルツインとしてアバターの行動を自動学習し、ヘルスケアや趣味などのパーソナライズされた情報提供を行います。ユーザーは、アバターを通じて有益な情報を取得できることに加えて、各メタバース空間でパーソナル情報を活用した体験が可能になります。

(2) 「PEGASUS WORLD KIT」(PWK)

PWK は、「リュウグウコク(仮)」向けのメタバースサービスやゲームサービスの制作を行う、エンターテインメント性と体験性の構築に優れたツールです。ゲームイベントを作成できる「RPG エディター」、写真からメタバースを簡単に作れる「RIV Technology」など、ユーザーの拡張性に優れた機能を有しています。

(3) 「MULTI MAGIC PASSPORT」(MMP)

MMP は、ユーザーが「リュウグウコク(仮)」内のメタバースサービスを自由に行き来するための決済機能付き身分証明証です。MMP には、ID 認証・決済手段のほか、NFT・アイテム類・アバタースキン・アバター記憶など、ユーザーが仮想世界で過ごすために有益な情報を登録することができます。これらの情報は、現実世界の利便性向上にも活用されます。

4. 今後の検討予定

初夏を目途に、メディア発表会を予定しております。今後、本構想にご賛同いただく企業を広く募り、ジャパン・メタバース経済圏を広げていきます。

5. 各社の役割・概要

(1) MMP/ID 認証領域での機能・ノウハウの提供、加盟店のデジタルツイン構築

商 号 株式会社ジェーシービー

代 表 者 代表取締役会長 兼 執行役員社長 浜川 一郎

U R L <https://www.global.jcb/ja/>

(2) MMP/決済領域での機能・ノウハウの提供、メタバースコインの提供、地域 DX 協業

商 号 株式会社みずほフィナンシャルグループ

代 表 者 執行役社長 木原 正裕

U R L <https://www.mizuho-fg.co.jp/index.html>

(3) ゲームフィケーション推進、PWK 開発支援、クリエイターエコノミー構築

商 号 株式会社三井住友フィナンシャルグループ

代 表 者 執行役社長グループ CEO 太田 純

U R L <https://www.smfg.co.jp/>

(4) MMP 機能構築支援(認証/決済/データ等)、Web3 型メタバース金融機能提供、海外展開支援

商 号 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

代 表 者 代表執行役社長 亀澤 宏規

U R L <https://www.mufg.jp/>

(5) 未来のライフスタイル、および次世代の ID 認証・決済領域における共同研究

商 号 株式会社りそなホールディングス

代 表 者 取締役代表執行役社長 南 昌宏

U R L <https://www.resona-gr.co.jp/>

(6) メタバースを含む Web3 時代に向けたリスク分析および保険開発

商 号 損害保険ジャパン株式会社

代 表 者 代表取締役社長 白川 儀一

U R L <https://www.sompo-japan.co.jp/>

(7) メタバースプラットフォーム「MiraVerse®」・アバター生成管理基盤「AVATECT®」相互運用、文化コンテンツ取扱いノウハウ・表現技術の提供

商 号 凸版印刷株式会社

代 表 者 代表取締役社長 磨 秀晴

U R L <https://www.toppan.co.jp/>

(8) デジタルデータ権利管理など Web3 関連技術の提供

商 号 富士通株式会社

代 表 者 代表取締役社長 時田 隆仁

U R L <https://www.fujitsu.com/jp/>

(9) メタバース基盤の海外展開、経済圏を広げるグローバルパートナー

商 号 三菱商事株式会社

代 表 者 代表取締役社長 中西 勝也

U R L <https://www.mitsubishicorp.com>

(10) ゲームフィケーションの機能・ノウハウの提供、PWK および MMP の提供

商 号 TBT Lab株式会社
代 表 者 代表取締役 CEO 田畑 端
U R L <https://tbtlab.com/>

《本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先》

TBT Lab 株式会社 MAIL: info@tbtlab.com